

「奥出雲町らしい景観」を 考えてみませんか

町では、奥出雲町らしく美しく豊かな景観形成に向けて「奥出雲町景観計画」の策定を進めています。この計画策定に向け、住民の皆さんの意識啓発などを目的としたワークショップと学習講演会が行われました。

地域の景観を再発見 わがワークショップ

自分たちが暮らす地域を歩き、景観資源を探しながら、その特徴を知ってもらおうと、九月十日に郡地区、六日市・大市・角地区で、十月二日には佐白地区でそれぞれ「わがワークショップ」が行われ、合わせて約七十人が参加しました。

ワークショップでは、この企画のコーディネーターであるNPO法人まつえまちづくり塾（井ノ上知子代表）のスタッフから、景観についての基礎知識やワークショップの進め方についての説明を受けた後、自分たちの暮らす地域を歩き、「景観探し」を行いました。



街並みを観察しながら歩く参加者

六日市・大市・角地区では、カメラを片手に、出雲横田駅から大市本町通り、六日市・角の伊賀多気神社を經由する約二・四キロを歩きました。普段は車で通り過ぎてしまつ景色でも、歩いて見ると新たな発見があり、参加者は「裏の路地が素敵だった」「水路

がたくさんあつて水がきれいだった」「斐伊川土手からの眺めが良かった」とそれぞれの発見や気づいたことを報告し合い、グループごとにまとめて発表しました。



発見したことを報告して地図に書き込み

まとめたものをグループごとに発表



景観について三人の専門家が講演 景観まちづくり塾

三人の学識経験者を講師に招いた「景観まちづくり塾」が九月二十一日、横田セミナーハウスで開かれ、約五十人が参加しました。

講師は、島根デザイン専門学校校長で造形作家の小林照尚さん、松江高専准教授の大屋誠さん（環境・建設工学）、島根大学准教授の正岡さちさん（住居学）の三人。奥出雲の印象や景観形成における現状、景観づくりとまちづくりの関係性について講演を行いました。

三人の講師は、それぞれの専門的見地から景観づくりについて話す中で、計画に関わる人たちの理解とコミュニケーションの重要性に言及。「多様性の中でコミュニケーションを持ち、お互いを認めながら、景観の統一感を見い出す必要がある」と景観づくりとまちづ



会場の様子・講演を熱心に聴く参加者

くりにおけるキーポイントを提案し、講演をまとめました。参加者は、講演を熱心に聴き、奥出雲町の景観づくりについて改めて考える参考としていました。

また、同塾は十一月にも開講予定で、来年一月にはシンポジウムを開き、景観に対する意識啓発を図っていきます。

藤岡大拙氏と 出雲国風土記縁の地を巡る

～奥出雲ガイド養成講座～

二〇一二年の「古事記編纂千三百年」を迎えるにあたり、神話や歴史を語るガイドを養成しようと昨年十一月から始まった「奥出雲ガイド養成講座」。この第五回講座が九月二十四日に開催され、NPO法人出雲学研究所の藤岡大拙理事長を講師に迎え、「出雲国風土記の中の仁多郡」と題した講演や現地学習に、県内外から約八十人が参加しました。

現地学習に先立ち、カルチャープラザ仁多で行われた講演では、出雲国風土記の仁多郡の条（仁多郡について記載されている箇所）を読み、当時の様子や町内の地名の由来、風土記に記載された寺社仏閣についての基礎知識を学びました。

その後、藤岡氏の案内のもと、三澤神社（三沢）、仰支里神社（八代）、仁多郡家の碑（郡）など、町内各地にある出雲国風土記縁の地・十箇所を巡りました。

訪れた神社では、名前の由来について、直接宮司に話を聞くなど、現地学習ならではの光景も見られました。参加者は、奥出雲町内に風土記縁の地が多くあることに驚くとともに、現地を訪ねることで、これまで学んだ知識を一層深めていきました。



仰支里神社で藤岡氏左からの説明を聴く参加者

県立大短大生「地域探検学」 町内でフィールドワーク

九月二十七日から二十九日の三日間、島根県立大学短期大学部の学生十九人が奥出雲町を訪れ、地域探検フィールドワークを行いました。

訪れた学生は、町内の伝承農家を訪問したり、日刀保たたらやたたら製鉄の遺構の見学、川西そば体験道場でそば打ち体験などをして、奥出雲の様々な文化について学びました。三日目の農業体験では、グループに分かれて、野菜の出荷作業や畑の除草作業などに汗を流しました。

慣れない作業に、悪戦苦闘しながらも、懸命に作業に取り組んでいました。参加した学生は三日間の活動を通じて、大学の講義では学べない、地域での暮らしや生き方を学び、肌で感じていました。



大根畑の草取りに汗を流す学生たち

第7回奥出雲町剣道大会



十月二日、今年で第七回となる「奥出雲町剣道大会」が、町民体育館で開催され、町内の剣道スポーツ少年団、中学校や高校の剣道部などから百五十七人の剣士が参加し、個人と団体で剣術を競いました。

参加した剣士たちは、チームメイトや保護者からの応援を受けながら、日頃の稽古の成果を発揮しようと懸命に戦っていました。

大会結果（各部門第一位・敬称略）

- 【団体戦】
 - 小学生男子の部 八川剣道スポーツ少年団A
 - 小学生女子の部 横田小剣道スポーツ少年団A
 - 中学生男子の部 横田中学校A
 - 中学生女子の部 横田中学校A
 - 高校・一般の部 布勢体協A
- 【個人戦】
 - 小学生低学年の部 嵐谷 勇大（鳥上）
 - 小学生男子中学年の部 高橋 誉親（八川）
 - 小学生男子高学年の部 松崎 将汰（八川）
 - 小学生女子中学年の部 足立 彩夏（横田）
 - 小学生女子高学年の部 三澤 瑞樹（亀高）
 - 中学生男子の部 松崎 康汰（横田）
 - 中学生女子の部 石田枝里子（阿井）
 - 高校・一般男子の部 内田 賢治（布勢）